



## 心援隊 夏休み 疎開・保養プロジェクト ご報告 (Shinentai Summer “Hoyou” Project Report)

2016.7.26 ～ 8.1



### 心援隊とは: What is Shinentai?

2011年3月11日の東日本大震災の被害にあわれた方々に対し、安定・継続した支援を行っていくために「心援隊」というチームを立ち上げ、その中でも「福島」を中心に拠点を据えて活動を続けてきました。情報を届け、義援金や活動資金を集めるためのチャリティーイベント、関西での受け入れや避難・移住のサポート、また現地において確実に効果的な活動を行っているチームへの寄付など、状況や必要性に応じてその都度最良と思われる支援を行って参りました。

震災・原発事故から5年以上が経った現在も引き続き、心援隊は『放射能から子どもたちの命を守る』ことを目的に福島だけでなく、東北・関東の被ばくの不安を感じているご家族の避難・移住のサポートを行い、そして、『疎開・保養プロジェクト』を継続して開催しています。

Shinentai was created in the aftermath of 2011 Tohoku Earthquake, in purpose of extending hands to those who were affected by the event. Shinentai has focused their energy particularly on Fukushima prefecture where a nuclear plant collapsed and many has been exposed to radiation. Shinentai has been organizing charity events to fundraise and spread accurate information about Fukushima, giving assistance to those who are evacuating and relocating, and donating funds to the local groups in Fukushima that have been effectively assisting others.

Five years after the disaster, Shinentai still has been working hard to achieve their goals on “protecting children in Fukushima from the effect of radiation.” It has been supporting those who have concerns about evacuating and relocating and continuing with “Hoyou” retreat project, in which the children from Fukushima visit outside of radiation affected areas for extended time periods, so their bodies have time to heal.

## 活動にける想い：『避難・移住』へのこだわり

心援隊は、放射能から子どもたちを守るためには少しでも放射線量の低い地で生活することが最善だと考えています。しかし現在、福島を始め東北、そして関東のホットスポット等には「子どもたちのため避難したいけどできない」という状況に置かれているご家族が少なくありません。子どもたちの命のためには、避難の必要性を理解していても、さまざまな事情で今すぐには避難することができないご家族の心に寄り添い、その壁を少しでも取り除くお手伝いができればと思っています。

Shinentai believes that in order to protect children from radiation, they should live in the areas with little or no radiation.

However, after 5 years from the disaster, there are families in Fukushima, Tohoku and other affected areas who believe they cannot relocate for various reasons though they understand that it is necessary to relocate in order to protect their children from radiation. Shinentai have been working to remove these obstacles for the families.

## 夏休み 疎開保養プロジェクト ご報告 (Summer Relocation & Hoyou Project Report)

2016年7月26日～8月1日(6泊7日)の日程で、大阪府吹田市・大阪市内にて16回目となる『夏休み 疎開・保養プロジェクト』を開催しました。福島県から1家族、茨城県から1家族、東京都から1家族の合計3家族となりました。

“Summer Relocation & Hoyou Project” was organized in Osaka and nearby area from July 26<sup>th</sup> to August 1<sup>st</sup> 2016. There were three families from Fukushima, Ibaragi and Tokyo participated.

### 7月26日(火)集合～ホテルへ

#### 7/26/16, (Tuesday): Gathering ~ Going to Hotel

『疎開・保養プロジェクト』の一日目は、まずは大阪市内の心援隊の事務所に集合していただきます。予定通りの時間に3家族が到着しました。すぐにボランティアスタッフと仲良く遊び出す子もいれば、少し緊張している子、ママから離れない子など、今回も様々な子どもたちが集まりました。

The first day of “Summer Relocation & Hoyou Project” began with the participating 3 families gathering at Shinentai Headquarter in Osaka. There were children who became friend with volunteers right away and there were some who were shy and stayed close to their mothers.

子どもたちが遊んでいる間に、親御さんたちには心援隊の思いや方針、プロジェクトのスケジュールや注意点、そしてこのプロジェクトがたくさんの方からの協力で成り立っていることなどをお伝えします。一通りの説明が終わったら、みんなで電車に乗って宿泊場所に向かいます。これまでと違うホテルとなり、阪急電車とモノレールを乗り継ぎます。カラフルな車両に乗って、万博記念公園駅に到着しました。駅からホテルまでの道では、何度も子どもたちが木の方を指さしながら、何かをしきりに気にしています。どうやらセミやセミの抜け殻が気になる様子。手のひらいっぱいセミの抜け殻を集め、嬉しそうな子もいました。ホテルに到着してそれぞれのお部屋に向かったら、ほっと一息つく大人たちとは対照的に、子どもたちは柔らかい大きなベッドで大はしゃぎ、笑顔で飛び跳ねていました。初日はここで終了となります。長旅の疲れが取れるように、ゆっくり休んでいただきました。



While children were playing, the parents received information about Shinentai's missions and the purpose of this project. Once the session is over, they headed to their hotel by taking train. While walking to the hotel from the train station, some children were noticing the cast-off shells of cicada. After arriving the hotel, unlike the adults who wanted to relax, the children were so excited and jumping on top of the beds. That was the end of the first day. They needed to rest after the long day travelling.



## 7月27日(水) たこ焼きパーティー & ありがとうのお話会 & ヨガ体験

7/27/16 (Wednesday) Takoyaki Party & Gratitude Stories & Yoga

プロジェクトの2日目は、盛りだくさんのイベントデーです。まずは毎回恒例となった心援隊スタッフ手作りのたこ焼きパーティー。会場は、前回のプロジェクトでもお世話になった、「イルチブレインヨガ千里山スタジオ」さんのスタジオを使わせていただきました。家族さんたちは、初日と逆のルートで電車に乗って会場に向かいます。モノレールでは、一番前の車両の窓から見える景色に興味津々の様子でした。会場に到着すると、すでに色々な種類のたこやきができあがっていました。子どもたちはお腹ペコペコ。手を洗い席について「いただきます!」をして、口いっぱいにはおぼっていました。男の子たちは、スタッフの手ほどきを受けながら、ママたちのたこ焼きを焼いてくれました。



The second day of the project was full of fun events. The first was Takoyaki (Octopus Ball) Party with Shinentai staff. On the way to the location, they rode a monorail and children were so excited to see the views from the front car. By the time they arrived, the children were so hungry. With the help from the staff, the children even made Takoyaki for their mothers.

お腹がいっぱいになった後は、子どもたちは外へ。暑い中頑張って歩いて公園に到着です。汗だくになりながら、走り回ったり遊具で思い切り遊ぶ男の子たち。持ってきた折り紙などで遊ぶ女の子。あまりの暑さに短い時間で切り上げるようになりましたが、それでもたくさん楽しめたようです。子どもたちが遊んでいる間、親御さんたちには日頃ため込んでいた不安や思いを吐き出していただきました。心援隊のスタッフと、すでに関西に移住したママたちがしっかり寄り添います。予定していた時間を延長してのトークとなりました。子どもたちが外遊びから真っ赤な顔で帰ってきたところでおやつタイムです。長野の支援者の方からいただいたブルーベリーの粒の大きさに驚きながら「おいしい! あまーい!」と、笑顔でたくさんはおぼっていました。その後には、世界中に「ありがとうカウンター」を広めている内田さんをお迎えして、ありがとうのお話会です。ありがとうカウンターの歌から始まり、感謝の大切さをいろんな事例をあげて面白おかしく話したり、体いっぱいの身振り手振りで笑わせているうちに、大人も子どもも、そしてスタッフたちも、どんどん話に引き込まれていきます。大事な3つの「ありがとう」を探し、毎日たくさん感謝することで、どんどん夢がかなうという話に、大人たちもうなずきながら聞き入っていました。

After the meal, the children played outside. They walked to a park in the hot summer heat. The boys ran around sweating and the girls played with Origami paper. They enjoyed it so much. While the children were playing, the adults talked about their concerns and worries with Shinentai staff and the other parents who already have relocated previously. They talked for long time. When the children returned, they had snacks. They enjoyed blueberries donated from supporters from Nagano prefecture. With big smiles, they said, "So sweet! So tasty!" After the snacks, they listened Gratitude Stories from Mr. Uchida. He started out with "Gratitude Song" and told Gratitude Stories with funny gestures and movements. They looked for "Three things they were grateful for," and learned that their dreams come true by being grateful everyday.



お話会の後は、この日の会場を貸してくださったスタジオの先生方による、ブレインヨガの体験です。初めにおへそをたたいたり好きなポーズをして体を温めて、分かりやすい紙芝居で体のことを教えてもらいます。そして親子で体をくっつけて、自分のすべてを認める、癒しと瞑想の時間をたっぷりとります。そして最後に起き上がり「愛してるよ〜」「大好きだよ〜」と声をかけ合いながらハグ大会となりました。おいしいものを食べて、思いをたくさん吐き出して、感謝の心を見直して、自分や子どもたちと静かに向き合う、そんな一日となり、ママたちの心が少し軽くなったようでした。

After the stories, they experienced Brain Yoga. After warming up their bodies by moving around, they learned about their body with drawings. Then the parents and children spent healing meditation time with putting their bodies together and accepting each other fully. At the end they hugged each other saying, "I love you!" They spent a day eating tasty foods, expressing various emotions, being reminded of the importance of gratitude, and connecting quietly with each other. The expressions of the parents seemed lighter by the end of the day.



## 7月28日(木) 万博記念公園で外遊び

7/28/16 (Thursday) Expo Memorial Park

3日目は、ホテルのすぐ近くにある万博記念公園での外遊びです。子どもたちにはやっぱり外遊びが一番のようで、休憩所に荷物を置いたらすぐに遊具に向かって走り出しました。特に大きなローラーの滑り台は大人気で、何度も登って滑ってを繰り返していました。霧状の水が出る場所では、ちょっとふざけて水浸しになる子どもたちも。休憩所で服を着替え、手すりで乾かしている間に昼食です。お昼ご飯は、今までも大好評だった、尼崎の『穀菜食堂 なばな』さんの特製弁当です。メニューは高野豆腐のカツなど動物性たんぱく質を全く使っていないのですが、おいしくてボリュームもしっかりあり、大満足のようなのでした。



昼食の後は広い公園内の散歩します。太陽の塔と記念撮影をして自然観察学習館に向かいました。セミの抜け殻を30個以上集めるとプレゼントがもらえるということで、みんなで協力して探しながら学習館に到着し、早速集めた抜け殻の種類と数を数えました。思った以上にたくさんあって、数えるのも一苦労です。合計は、4種類で220個にもなりました。たくさん集めたということで、バッジやキーホルダー、木工作品などから、一人ずつ好きなものを選んで頂きました。数え終わった後は、学習館にあるものにみんな興味津々です。スタンプラリーをして、虫についていろんな勉強をしたり、自然のぬくもりいっぱいのおもちゃで遊んだりしていました。暑い一日でしたが、自然いっぱいの中でたくさん自然に触れた日となりました。被ばくを気にすることなく外で遊ばせられることに、ママたちもずっと嬉しそうな一日でした。

On the third day, they went to play at Expo Memorial Park. The children enjoyed playing enjoyed. They particularly loved big slide and they repeated up and down many times. After enjoying vegetarian Bento lunch, they walked around the park. They visited Tower of the Sun by Taro Okamoto and took photos together. Then they visited Nature Center and learned about insects and played with toys. They received some gifts by collecting the cast-off shells of cicada. The mothers looked happy to see their children spending so much time outdoor without worrying about exposure to radiation.





## 7月29日(金) お絵かきワークショップ&外遊び

### 7/29/16 (Friday) Drawing Workshop & Playing Outside

プロジェクトも折り返しとなる4日目は、以前からお世話になっている、吹田市のコミュニティスペース「モモの家」さんにお邪魔しました。スタッフと先輩移住者さん、そして家族さんの自己紹介が終わったら、さっそくお昼ごはんです。

昼食のメインは車麩の生姜焼き。モモの家ではいつも、材料はもちろん調味料もこだわった安全なものを使われています。作ってくださった方に感謝を込めて「いただきます」をします。愛情と工夫たっぷりのおいしいお昼ごはんでした。



お腹がいっぱいになった後は、パステルアートの美奈子先生に来ていただき、ワークショップの時間です。先生に丁寧に教えていただき、それぞれの感性で描かれた個性豊かなひまわりができました。ワークショップの後には、このプロジェクトに協力してくださっている方に感謝の気持ちを込めて、エコバッグに絵を描いてもらいました。こちらも、「ありがとう」の気持ちと個性が詰まった作品ができました。たくさんお絵かきをした後には、少し歩いて近くの公園に向かいます。走り回っていろんな遊具で遊ぶ子も、そしてその姿を見守り一緒に遊ぶ親御さんたちもみんな嬉しそうでした。そのうち誰かが公園内の水場を見つけて、気が付けば子どもたちが集まって来ました。最初は足をつける程度でしたが、だんだん水しぶきをあげ、水を掛け合い、全身びしょ濡れになり、またママたちが笑いながら服を乾かすことになりました。服を着替えて戻った家族さんには、『にっ顔絵』アーティストのさゆりさんから、かわいい似顔絵と、名前の文字を入れた言葉のプレゼントがありました。それぞれにっこり笑った似顔絵がそっくりで、言葉もその人をよく表していました。色紙を持って家族ごとに写真を撮っているうちに、夕食の時間となりました。夕食のメインは、お肉の代わりに大豆ミートを使ったコロッケです。食事が進む中で、モモの家のスタッフの方に、この日のメニューや、被ばくから体を守るための食材や調味料の選び方などについて教えていただきました。親御さんたちは興味津々で、質問や驚きの声が聞こえました。おいしい夕食にお腹も気持ちも満足したら、みんなでホテルに帰ります。このプロジェクト中、みんなで電車に乗るのはこれで最後になります。最後のモノレールでも、一番前の席で外の景色を楽しんでいました。駅前で翌日のプログラムの説明をしていると、周辺案内のボードの透明部分に子どもたちが顔を押し付けて、大人たちは思わず大笑い。子どもたちから楽しい時間をプレゼントしてもらいました。

On the fourth day, they visited “House of Momo,” a community space in Suita City. After introduction with staff and previously relocated families, they had lunch together. The main dish was sautéed wheat gluten with ginger sauce. At House of Momo, they strictly used only safe ingredients and spices for cooking. After the meal, a pastel art teacher, Ms. Minako, came and she taught a drawing workshop. After the workshop, they drew on shopping bags with messages of gratitude. In the afternoon, they went to a park to play. The children found a water hole and they splashed each other until all of them were drenched. When they returned to House of Momo, there was a caricature artist Ms. Sayuri who gifted them with the drawings of their smiley faces and the words. The dinner was croquettes made with soy meat. The staff from House of Momo explained how to cook foods and select ingredients that help to boost immune systems to protect themselves from the effects of radiation. The parents were deeply moved with the conversation and they asked a lot of questions. On the way back to their hotel, while the adults were discussing the plans for the next day, the children were kidding around and the adults had good laughs.



## 7月30日(土) 野菜の収穫体験&流しそうめん

7/30/2016 (Saturday) Vegetable Harvesting & Flowing Noodle

5日目からは別のホテルに宿泊します。4日間お世話になったホテル阪急エキスポパークとお別れし、バスに乗って向かった先は、京都府・南山城村です。お世話になったのは「光ファーム」の光澤さんと、「のらりと」のけんにいこと京牟礼さん。どちらも農薬や化学肥料に頼らず、愛情たっぷりに野菜を育てられています。それぞれ自己紹介をして、畑での注意事項をお聞きします。子どもたちにもわかりやすいように、クイズなど出しながら教えてくださいました。そして家族さんごとに収穫体験スタートです。ナス、トマト、キュウリに、ズッキーニ...と、はさみを上手に使いながら野菜を収穫していきます。プチトマトは採ったその場でいただきました。おいしさのあまり次々と口に運ぶ子も。昼食までの間、男の子たちは、虫やカエル取りに夢中になっていました。初めは虫を怖がって触れなかった子も、だんだんと小さな虫なら捕まえられるようになり、大人たちに自慢げな笑顔で見せてくれました。お昼ご飯はかまどで炊いたご飯と、畑で採れた野菜のバーベキューです。炊きたてのご飯と、自分たちで取った野菜をほおぼるとても贅沢な時間でした。食事が終わると子どもたちは川の浅瀬で水遊びの時間です。前日の教訓をしっかりと生かして濡れてもいい格好を準備してきました。川には入れないちびっこも、川のまわりを探検し砂遊びを目いっぱい楽しんでいました。



On the fifth day, they left the hotel and rode bus to “Hikari Farm” in Minami Yamashiro Village in Kyoto. They met Mr. Hikarisawa and Brother Ken who taught them about organic farming. Each family experienced harvesting vegetables. Using garden shears they harvested eggplants, tomatoes, cucumbers and zucchinis. They ate mini tomatoes as they harvested. The boys were focused on catching frogs and insects until lunch time. They showed their “catches” to the adults proudly. The lunch was rice cooked in traditional pot and grilled vegetables. They enjoyed fresh cooked rice and the vegetable they harvested. The children went to swim in the river after lunch. Even little ones enjoyed playing with sand and exploring river bank.



たくさん遊んで移動すると、夕食の準備が進んでいました。大人たちは、移住や被ばく回避など真剣なお話の時間になり、子どもたちは準備を手伝ったり、用意して下さった流しそうめんの竹にミニトマトを流してみたりしていました。準備が整ったら、ママたちも集まって流しそうめんスタートです。小さな子も上手にそうめんをキャッチし、口いっぱいにはおぼっていました。そうめん以外にも、採れたばかりの野菜を使ったカラフルなサラダや揚げたてのてんぷらなどが並びました。みんなお腹がいっぱいになったようでしたが、デザートのスイカとマクワウリもあっという間になくなりました。お腹いっぱい食べたらごちそうさまをして、みんなで一緒に写真を撮り、お礼を言ってホテルに向かいます。家族さんには、新鮮な野菜をお土産を持たせてくださいました。この日からは、新大阪のユースホテルでの宿泊となります。まるで一つの家族のように仲良くなった3家族で、広くてきれいな部屋でお休みしていただきました。



While getting ready for dinner, the adults had a serious discussion about relocation and avoiding radiation. The children helped preparations of “flowing Somen noodle.” The adults joined the children after the talk and they enjoyed catching flowing noodles at the end bamboo pipe and eating fresh vegetable tempura and salads. After eating water melon for desert, they took photos together and headed to their hotel in Osaka.



## 7月31日(日) 外遊び&お別れ夕食会

7/31/16 (Sunday) Playing Outside & Farewell Dinner

最後のプログラムも、バスに乗っての遠足です。前日に子どもたちがバスの中で騒いでしまい、小さな子が眠れないことがあったので、この日は赤ちゃんが寝ているときは静かにすることを約束をしました。バスが発車するとすぐに寝息が聞こえ始めましたが、子どもたちはきちんと約束を守っていました。子どもたちが静かに遊んでくれていたおかげで、バスの中ではママたちの真剣な移住相談の時間にもなりました。お昼前には、最初の目的地「見山の郷」に到着です。注文していたお昼ご飯をここで受け取り、少し休憩を取り、地元の野菜や調味料などの買い物をしたり、地元の野菜を使っている珍しいジェラートを食べたりする時間になりました。次の目的地の「里山センター」に到着したら、手を洗って「いただきます」をします。お弁当に使われている食材も、茨木市産の野菜がたっぷりです。お弁当の後には、お楽しみのお外遊びの時間です。里山センターにはクローバーがじゅうたんのよう広がった広場があり、シロツメクサを摘んだり、バッタやカエルを捕まえ走り回ります。この日はもう誰も虫を怖がらず、たくさん捕まえたカエルや虫などを見せてくれました。外遊びの後には部屋に戻り、工作の時間です。シニアボランティアの方にご指導いただき、木やどんぐりを使った工作をさせていただきました。ママやスタッフに手伝ってもらいながら、カラフルに色をぬったり、どんぐりをたくさんくっつけたりと、個性いっぱいの作品ができました。途中突然どしゃ降りの雨が降ってきて、外遊びの続きは出来ませんでしたが、黒板に絵を描いたり、椅子を積み上げて遊んだり、木工の手作りおもちゃで遊んだり、室内でもしっかり遊ぶことができました。たくさん遊んだあとはまたバスに乗り、夕食の会場まで移動です。



The program of the last day was a field trip on the bus. The children played quietly in the bus, so that the babies could take a nap and the adults could talk about relocation. The first stop was “Miyamano Sato,” where they picked up their lunch and tried local delicacies including gelato with local vegetables. The next stop is “Satoyama Center” in Ibaraki City with a field of clovers, where they had their lunch. After playing in the field outside, the children came inside to learn craft. With the help of volunteers and the parents, the children made the unique creations with gluing woods and acorns together and painting in various colors. After playing with wooden toys, they went back to the bus and headed to dinner.

バスが動き出してすぐに子どもたちが静かになったと思ったら、まるで本当の兄弟のように仲良く熟睡していました。プロジェクト最後の夕食をいただくのは、いつもお世話になっている、吹田の洋食屋さん「パインズハート」さんです。人気のメニューがたくさん揃った中にソーセージで作った「ソーソー人」をこっそり入れてくださったり、子どもたちが喜ぶようにと今回も考えてくださいました。お店にはたくさんの絵本があり、ごちそうさまを終えた子から絵本タイムに入ります。食べ物に関する絵本がたくさんで、気に入った絵本を何度も読んでもらう子も。そして最後に、震災に遭った日本の子どもたちのために作られ、パリの子どもたちがメッセージや絵を描いてくれた絵本を、それぞれ家族さんごとにプレゼントさせていただきました。最後にその絵本を持ってみんなで記念写真を撮り、お礼を言ってホテルに戻ります。ユースホステルに到着すると、仲良くなった先輩移住者ファミリーとはお別れになります。気持ちをごまかすためなのか、少し乱暴な振る舞いになった子もいましたが、最後にはきちんとお別れを言うことができました。



As soon as the bus started, the children fell asleep together like real brothers and sisters. The last dinner was at a restaurant “Pines Heart.” They created special menus so that the children could enjoy. At the restaurant, there were many picture books about food. Also, each family received a picture book that was made by the children in Paris for the children of Japan who were affected by Tohoku Earthquake. After taking the photos together, they headed back to the hotel, where they said goodbyes to the families they met.





## 8月1日(月)出発の朝

### 8/16 (Monday) Morning of Departure

最終日の朝、ホテルをチェックアウトしたあと、最後にもう一度親御さんたちに心援隊の思いをお伝えし、新大阪駅までお見送りをしました。ママたちは、初日よりずっとすっきりした顔をしていました。駅の改札で別れを惜しみながら、どこかで再会できることを願ってさよならをします。一番年上で、ムードメーカーだった男の子の目がどんどんうるんできて、最後には大粒の涙がこぼれました。それにつられて、大人たちもこらえていた涙が流れてしまいました。たった一週間でしたが、時々いたずらをして叱られながら、キラキラした笑顔がたくさん見せてくれた子どもたち。彼らの未来が、明るい、笑顔にあふれるものであるようにと、心から願っています。



On the last morning, after checking out from the hotel, the families headed to the train station. On the way, Shinentai staff talked to the parents one last time about the importance of protecting children from radiation. At the station, even the oldest boy, who was the mood maker of the group, shed tears as they said goodbye. Though it was just one week, they have filled our life with their bright smiles. We wished from the bottom of heart that their future is filled with those bright smiles.

## 参加者さんからのお手紙(一部抜粋)

### Letter from the Participants (Excerpts)

親子共々、いろいろ感じて経験して成長できました。(中略)これから、家族やいろいろな人と相談して、自分と子供(夫も?)の行く末を決めていきたいです。

“With many experiences, we felt that our whole family have grown up ... We will talk to the families and ask for many advices to decide what to do.”

5年前のあの日から、ずっとずっと心の底にあるモヤモヤとしたたくさんの想い...いっぱい吐き出させてもらい、ありがとうございました!! みんなが受け止めてくれたから、自分の思いや気持ちをつつみかくさず声を大にして言うことが出来ました。(中略)皆さんと話をする事でたくさんの前向きなパワーをもらう事が出来ました。息子は、大阪で仲良くしてもらったお友達の存在が忘れられず、「大阪に引っ越そう!!」なんて言ってます。(笑)子供の力はすごいです。

うちの息子は、どちらかというと内気で、ちょっと変わり者で、友達の輪に入れないタイプ...と勝手に思い込んでいたのは親の私の方で...

実はとても社交性があって、本当は虫だって興味があるし、昨日今日仲良くなったばかりのお友達とも、あんなに嬉しそうに笑い合っていた息子を見て、この子なら、どこに行っても大丈夫と思えることが出来ました。(中略)

もう少し、時間はかかりそうですが、子供たちを守ることを絶対にあきらめない!!! 自分の思い描く未来を強く目指しながら、前向きに進みます。また、何かあったり、くじけそうな時は相談させてください。 “もちろん”良い報告がある時も聞いてください!!



“Thank you so much for helping me to release all the unresolved feelings I had since the day of the disaster five years ago. Because of your understanding, I could express my feelings without pretensions ... I felt that I received positive energy just by talking to you all. My son cannot forget all the friends he made in Osaka and he is saying, “Let’s move to Osaka!!” I was reminded of how resilient children are. I thought that my son was introverted and too shy to be a part of a group, but I realized that I was wrong ... He was so sociable and he made friends right away with people he just met. Watching my son who were laughing so happily with his friends, I felt he will be fine wherever he goes ...

It may still take some time, but I will never give up protecting my child!!! I will move forward believing the positive future for my family. I hope you can help me when I need help or when I am discouraged. I hope to give you “good news” whenever possible.”

## 最後に: Last Thoughts and Acknowledgements

最後になりましたが、『夏休み 疎開・保養プロジェクト』を開催するにあたり、今回も大変多くの方々のご協力をいただきました。今回も忙しい時期にホテルの手配等に尽力してくださったみずほトラベルサービスさまをはじめ、各プログラムごとにお世話になりました、イルチブレインヨガ千里山スタジオさま、ありがとうカウンター・内田さま、モモの家さま、パステルアート・上田美奈子さま、にっ顔絵さゆりさま、光ファームさま、のらりとさま、パインズハートさま、先輩移住者の皆さま、ご寄付をくださったり、各方面につないでくださった皆さま、家族さんのためにと一生懸命動いてくださったボランティアスタッフの皆さま、様々な形で応援してくださった全ての皆さま、たくさんのご支援をいただき、このプロジェクトを開催することができました。本当にありがとうございました！また今回は、株式会社ラッシュジャパンさまより「LUSH FunD」の助成金をいただき、クラウドファンディングサイト・CAMPFIRE でパトロンとなってくださった皆さまのおかげさまで、参加家族さんにとってより意味のあるプロジェクトを企画することができました。改めて心より感謝いたします。

震災から5年半が過ぎた現在、『疎開・保養プロジェクト』への応募数は少なくなり、キャンセルや参加辞退などが年々増えてきています。その一方で、活動を続けてほしい、これからも保養が必要という声は変わらず届けられ、今回は参加がかなわなかったご家族から「次こそは参加したい」という声も上がっています。また、原因は特定されていないながらも、直接的・間接的な健康被害と思われる事例について耳にすることが増えてきました。人々の関心も年々薄れている実感もありますが、震災直後からずっと協賛・協力を続けてくださっている方、今の心援隊の活動を見て、新しく応援をしてくださる方が少なからずいてくださるのもまた事実です。

「まだまだ心援隊の活動が必要とされている」このことをしっかり胸に刻みつつ、福島をはじめ東北・関東のご家族にとってベストと思われる支援を続けていく所存です。今後とも、なにとぞご支援・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

After five years from the disaster, the applicants for “Relocations & Hoyou Project” are decreasing every year. There are many who decide not to participate and cancel the registrations. On the other hands, there are voices that calls for continuing support for Hoyou projects. Those families who had to cancel also want to participate in the future. Though there was no particular reason for the cancellation, it seems that we hear more about health-related causes. Each year public attention is moving away from this issue, but there are people who have been supporting Shinentai from the beginning and the others who have seen what Shinentai has done and have decide to support. We take to the heart that “Shinentai is still needed and our work is far from over,” and we continue to support families in Fukushima, Tohoku and Kanto areas as best as we can. We ask for your continued support. Thank you so much!





『夏休み 疎開・保養プロジェクト』にご協力ありがとうございました！（順不同）

協賛：みずほトラベルサービス（株）様 イルチブレインヨガ千里山スタジオ様 ありがとうカウンター・内田様  
パステルアート・上田美奈子様 にっ顔絵さゆり様 モモの家様 パインズハート様 美容室 Luft 様  
Panier 〜パニエ〜様 ティグレ連合会様 社会福祉法人とよかわ様 大伸ビルマネージメント（株）様  
協力：光ファーム様、のらりと様、特定非営利活動法人スモールファーマーズ様  
箕面アジェンダ 21 の会様 みのおエコクラブ様 北摂ファイン様 日本志喜彩塾様 チームまっぺあ様  
助成：LUSH FunD

### ご寄付のお願い

心援隊の持続可能な活動のためにご支援をお願いいたします  
いただいたご寄付は、放射能から子どもたちの命を守るために大  
切に使わせていただきます

寄付の受付口座 「NGO 心援隊」  
◎ゆうちょ銀行 普通 14150-6851901  
他金融機関からの振込  
◎店番 418 四一八支店 普通口座 0685190

### 主催/問合せ：NGO 心援隊

〒532-0011  
大阪府大阪市淀川区西中島 4-4-25-409  
TEL：06-6476-9050 メール：  
info@shinentai.net HP：  
<http://www.shinentai.net/> ブログ：  
<http://ameblo.jp/shinentai/>